

# 令和7年度 第1回 保倉区地域協議会

## 次 第

日時：令和7年4月30日（水）午後6時～

会場：保倉地区公民館 研修室

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 題

#### 【報告事項】

- ・地域独自の予算事業の一覧について

#### 【自主的な審議】

- ・健康福祉関係者との意見交換に向けての準備

### 4 そ の 他

- ・次回地域協議会

令和7年 月 日（ ）午後6時～ 保倉地区公民館

### 5 閉 会

※令和7年度予算は、令和7年第2回（3月）上越市議会定例会での議決をもって成立しました。

令和7年度地域独自の予算事業 地域自治区別事業一覧表

※実施主体と提案団体が異なる場合は、「実施主体」欄に括弧書きで提案団体名を記載している。  
※「自己負担額」欄には、補助事業における実施団体の自己負担額を記載しており、市の直営事業の場合、「－」を記載している。

| 区名   | 事業名                     | 実施主体                      | 総事業費<br>(①)<br>(千円) | 予算額<br>(②)<br>(千円) | 自己負担額<br>(①-②)<br>(千円) | 歳出科目      |               |       |
|------|-------------------------|---------------------------|---------------------|--------------------|------------------------|-----------|---------------|-------|
|      |                         |                           |                     |                    |                        | 目名称       | 事業名           | 担当課   |
| 保倉区  |                         |                           |                     |                    |                        |           |               |       |
| 1    | 保倉地区環境美化事業              | 保倉まちづくり振興会                | 229                 | 205                | 24                     | みどりのまち推進費 | みどりのまち推進事業    | 都市整備課 |
| 2    | 保倉地区早朝ラジオ体操事業           | 保倉まちづくり振興会                | 54                  | 48                 | 6                      | 地域振興費     | 地域振興事業        | 地域政策課 |
| 3    | 「保倉歩こう会」～楽しく歩こう、保倉を知ろう～ | 保倉まちづくり振興会（提案団体：保倉区地域協議会） | 108                 | 75                 | 33                     | 地域振興費     | 地域振興事業        | 地域政策課 |
| 4    | 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業 | 直江津東地域学園運営協議会             | 476                 | 428                | 48                     | 事務局費      | コミュニティ・スクール事業 | 学校教育課 |
| 計 4件 |                         |                           | 867                 | 756                | 111                    |           |               |       |

子育て世代の皆さんとの懇談会（R6.12.11 実施）・第6回地域協議会 まとめ

- (1) 意見交換の目的
- 地域協議会で地域活性化や地域課題の解決を協議するに当たり、地域の声を取り入れる
- (2) 参加者リスト
- | 班 | 役職        | 住まい  | 背景              | 在住年数  |
|---|-----------|------|-----------------|-------|
| A | 保育園保護者会会長 | 下百々  | 結婚を機に保倉へ        | 約10年  |
|   | 保育園保護者会会計 | 下五貫野 | 結婚を機に保倉へ        | 約3年   |
|   | 小学校2年生役員  | 上吉野  | 幼少から在住          | 30年以上 |
| B | 小学校4年生役員  | 中青野  | 結婚を機に保倉へ        | 約12年  |
|   | 中学校厚生委員   |      | 二世帯住宅で暮らす       |       |
| C | 小学校5年生役員  | 岡沢   | 頸城区出身、大島区から移住   | 6年    |
|   | 小学校5年生役員  | 上名柄  |                 |       |
|   | 中学校幹事     | 上名柄  | 有田区出身、結婚後保倉へ    | 約15年  |
|   | 中学校厚生委員   | 長岡新田 | 富山県出身、県外から夫の実家へ | 3年    |
- ・「子育て世代」と一言と言っても、在住年数は様々で、それに伴い「地域」に関わる経験も様々であった
- ・小学校の関りが減少したことやコロナの影響で、地域に関することを「知らない」方もいた

(3) 子育て世代の声（概要）

実態

- ・今の子ども達は地域行事がないのが当たり前。あまり地域を意識していない
- ・子育て世代には（特に嫁いできた女性には）学校の行事が、数少ない地域との接点
- ・地域の事をあまり知らない
- ・車がないと生活できない
- ・子どもが自転車で出かけることも難しい

こうなったらいいな（意見）

- ・学校行事なら参加しやすい
- ・子どもを集めないと大人は来ない
- ・子どもの意見も聞いてほしい
- ・町内会や子ども会には参加したい
- ・インターネットを活用した意見募集や情報発信があってもいいのではないかな
- ・子どもが安全に集まって過ごせる場所があると助かる
- ・中学校の下校手段を改善してほしい

資料No.2

- (4) 「子育て世代の声」に地域協議会としてどう関わっていくか
- 地域の一体感を高める取組について

| 子育て世代の意見                                                                                                                                                   | 地域協議会としての関わり方・アイディア<br>【第6回地域協議会（R7.1.27 実施）での意見】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>・学校行事なら参加しやすい</div> <div>・子どもを集めないと大人は来ない</div> <div>・子どもの意見を聞いてほしい</div> <div>・町内会や子ども会には参加したい</div> <div>・インターネットを活用した意見募集や情報発信があってもいいのではないかな</div> | <div>・子どもが何を求めているのか、子どもの意見を聞く</div> <div>・子どもに近い、小学校の先生方との話し合いをもつ</div> <div>・小学校を軸としながら子どもの考えを聞く</div> <div>・小学校の行事等と地域がタイアップしていく</div> <div>※【資料No.3】R7.2.19 発行保倉小だより 参照</div> <div>「第3回ほくらコミュニティ・スクール運営協議会」の場で、地域協議会の意向を共有</div> <div>・各町内会で様々な取組がある。子ども（+保護者）の参加を促すための工夫もあるようだ。情報交換してみたい</div> <div>・保倉公民館のグラウンドをキャンプや盆踊りで活用する</div> <div>・青野町内会が継承している「剣の舞」は小学校の授業でも取り入れられ、子どもには身近であるが、地区内では知らない人が多い。保倉地区全体に活動の輪を広げる</div> <div>・「さいの神」はどこの町内会も実施していて、参加者も多い伝統行事である。保倉地区全体で大規模なものをやってみる</div> <div>・保護者は働いているので、夜間のイベントを実施することで参加者を増やす</div> <div>・他の事例から学ぶ</div> <div>（例）北諏訪区イベント「祭りっち」</div> <div>八千浦区イベント「海まつり」「文化展」 等</div> |

■地域で課題・心配に感じていることについて

| 子育て世代の意見                         | 地域協議会としての関わり方・アイディア<br>【第6回地域協議会（R7.1.27 実施）での意見】                                                                 |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>・子どもが安全に集まれる場所があると助かる</div> | <div>・子育て世代から遊具を直してほしいとの声も聞いている。町内にある公園の遊具を再点検し、子どもや親が集える場所を提供する</div> <div>・安全の確保は難しい問題。みんなで声をかけてやっていくしかない</div> |
| <div>・中学校の下校手段を改善してほしい</div>     | <div>・歴史的な経緯も多く含んでいるため、一朝一夕に改善できる話ではない。中学生の保護者等から地域協議会に協力要請があった場合に対応する</div>                                      |



# 保倉小だより

上越市立保倉小学校  
令和7年2月19日

NO. 10

## 感謝できるしあわせ

校長 荒井 尊嗣

感謝を伝えることは、していただいたことに感謝し、それを「伝えたい」という思いから生まれるものです。感謝された側は「感謝の気持ちを伝えてくれてありがとう」の気持ちを抱いてくれると思われそうですが、感謝を伝える側にはどんな効果があるのか調べてみました。

感謝することの身体的効能として、免疫力の向上や痛みの軽減、心理的効能としては、楽天性や幸福感の高まりなどがあり、感謝を続けると、寛容で慈悲深くなったり孤独感が軽減したりするそうです。スポーツ選手が試合後のインタビュー等で「これまで支えてくれた人、応援してくれた人たちに感謝したい」と口にします。「感謝」を自信（一人じゃない、きょううまくいく）や責任感（応援してくれる人たちのために）に変え、力を発揮できたよい例だと感じました。

1月29日（水）、給食運営協議会がありました。学校給食に携わる方々の会合です。ここでは、給食を安全に提供し、子どもたちに安心して食べてもらうための話し合いが毎年1回行われます。調理業務を委託されている業者の社長さん、業者の給食担当者の方、調理員さん、保護者代表の方、教育委員会の給食担当者、栄養教諭、給食担当教員、学校の代表者が参加します。普段の給食ではこの他にも生産者の方々や食材を運んでくれる業者さんなど、毎日の学校給食提供は、たくさんの方々の心遣い・連携の上で成り立っています。天災や事故なども少なくない中で、毎日確実に提供していただいていることのすごさがわかり、「有難き事」との気持ちがわいてきました。

年度末を迎えるにあたり、学校では、「感謝の気持ちを表そう」実施計画を進めています。一年間お世話になった方々、特に学習や登下校でお世話になっている地域の方へ、子どもたちが感謝の気持ちを手紙で伝えます。意図的に感謝する場を設定することで、子どもたちの感謝する心を育てます。

周りの人たちからの支えと、人と人とのつながりの中で生きていることを実感することや、支え応援してくださる人たちに感謝し、感謝の気持ちを伝えたいという思いをもてることはしあわせにつながることでありたいと思います。保倉小学校に感謝の輪が広がり、子どもたちには毎日しあわせな気持ちで元気に過ごしてほしいと願っています。

いつも  
ありがとう

感謝

### 第3回 ほくらコミュニティー・スクール運営協議会報告

生活科と総合的な学習の時間やアンケート結果をもとに、委員の皆様からご意見をいただく形で令和6年度の教育活動を総括しました。以下にいただいたご意見等は総合的に検討し、学校運営に反映させてまいります。(◎成果 △課題 ◇意見)

#### 教育活動、アンケート結果

◎子どもたちが楽しめる活動がたくさんあって良かった。

◎アンケートの各項目で1学期より肯定的評価がアップしているのは良かった。

#### 学力向上

◇学びは元をたどること。由来やどうやってできたのかなどを追求することが子どもの力をつけることにつながる。

△各活動の場面では自分ごとになっているかが大事。自分事になるには、対象とのかかわりをたくさん持たなければならない。協働の場面での動きの悪さは、対象とのかかわりが足りないことからくるのではないか。

△子どもの発表場面でマイクを使っているのに声が小さい様子がみられる。また、原稿を見ないで言うことはできないか。

#### 生活習慣

◇生活習慣は「改善」より「定着」という言葉がふさわしいと思う。規則正しい生活の気持ちよさを実感できることを目標にする。とても大事なところなので、学校全体で取り組んで欲しい。

◇すこやか委員会では毎回講演をしていただき参加者からも好評であるが、保護者の参加が少ない。参加率が高くなる方法を探れないか。帰りのバスの時間もあるので難しいと思うが。

△メディア 2時間以内 8時までには守れているのか。睡眠時間を確保しなければ朝食も食べられない。体を使った遊びのエネルギーも得られないと思う。

#### 人間関係づくり・交流

◇子ども同士の信頼関係構築の根底には、「自信」がある。不安があると自分のことを語れない。

◇ありがとうの言葉が大事。ありがとうの言葉を日常的に出せるようにしたい。

◇コロナで地域と子どもたちのつながりが途切れてしまった。元通りにならないまでも、もう少し交流を深めたい。

#### 地域連携

◇地域協議会で小中学校の保護者の方々から話を聞かせていただいた。子どもは土日たいへん忙しくしている。学校や地域の行事であまり忙しくしてほしくないというご意見があった。行事はやればよいということではなく、今の学校の活動に地域が入っていければいいのではないかと思う。

◇公民館事業の一つで子どもの遊び広場を提供した。異学年交流がよく取れていた。かくれんぼやドッジボールが人気だった。子どもたちの遊び場の提供を今後も続けていきたい。

◇この協議会に担任の先生方にも参加していただけないか。年度初めに、生活科・総合的な学習の時間の1年間の見通しを教えていただければ、協力もしやすくなる。

#### 一人1台端末

◇iPadを使った調べ学習は大事である。ただ、低学年ぐらいまでは言語技術などの国語的能力を育てることが大事だと思う。

◇デジタル教科書を使うこともあるでしょうが、やはり紙あつてのデジタルだと思うので教科書は紙を中心にやった方が学力向上には効果的ではないか。

## 地域活性化につながる取組の検討

### 保倉区地域協議会と地域の団体等との意見交換に向けて

#### ■意見交換の目的

- ・地域協議会で地域活性化や地域課題の解決を協議するに当たり、地域の声を取り入れる。

#### ■意見交換テーマ（R6. 12. 11 実施の「子育て世代との懇談会」と同様）

##### ①地域の一体感を高める取組について

- ・現状の確認
- ・「保倉歩こう会～楽しく歩こう、保倉を知ろう～」について

##### ②地域で課題・心配に感じていること

- ・地域の安全・安心（防犯・防災）
- ・保倉区の特色、次の世代に引き継いでいきたいこと
- ・家族を含め、これからも保倉で暮らしていくために 等

#### ◎健康福祉関係者との懇談会について

##### ■参加者の選出

- ・保倉まちづくり振興会福祉部会
  - ・民生児童委員・主任児童委員
  - ・つどいの会
  - ・食生活改善推進員
  - ・運動普及推進員
- ・公民館運営委員
- ・農協女性部

※参加者 12 名程度を想定

（地域協議会委員は 12 名。同数程度の参加者と意見交換を実施したい）

※地域協議会委員ではない町内会長の出席については検討が必要

##### ■依頼方法

- ・北部まちづくりセンターが地域協議会名で依頼文を作成する
- ・町内会長（地域協議会委員を含む）が、対象者に依頼文をお渡しする
- ・北部まちづくりセンターが出欠の取りまとめを行う

##### ■意見交換日時・場所（案）

- ・令和 7 年 5 月 29 日（木） 18：30～ 保倉地区公民館  
（地域協議会委員は 18：00 集合、事前打合せ）